

免責同意書

署名をする前に注意して読んでください。

私はスクーバダイビングの講習及びダイビングに付随する危険性について理解し、傷害や死のすべての危険性が伴うことを理解した上で、自由意思で参加することをここに確認します。

私が希望しスクーバ活動に参加することにより発生し得る個人的傷害、財産の損害、あるいは過失によって生じた事故による死亡を含むあらゆる損害賠償責任からPADI JAPAN、PADI EMEA 及び ユーロダイバース JP(株)、その親会社、子会社、提携会社、そして役員、理事、代理人、従業員を免除し、請求権を放棄することを理解した上で署名します。また、私は圧縮空気を使用するダイビングには一定の危険が伴うため、再圧チェンバーにおける治療を必要とする傷害が生ずる可能性があることも理解しています。さらにオープンウォーターダイビングは、再圧チェンバーがある場所から時間的にも距離的にも遠く離れた場所で実施される場合があることも理解した上で、ダイビングに参加することに同意します。私はこのダイビングに参加した結果として、参加に関連して私自身に生ずる可能性のある傷害その他の損害の全てについて、私自身が責任を負うものであり、潜水地の近くに再圧チェンバーがない場合があることを了承した上でダイビングを実施することを希望します。

参加条件

- 参加者はレンタル器材の破損や損失の責任を持ち、破損や損失により修理または新規購入が生じた際、ユーロダイバース JP(株)がその費用を請求します。
- ダイビングまたは講習が実施できない場合、参加費用は返却されますが、その他についての責任は負いません。
- 参加最少年齢は10歳（バブルメーカーは8歳）です。18歳以下の場合、保護者の同意が必要になります。
- 参加者はユーロダイバース JP(株)のスタッフの指示（最低必要な認定、ダイビング経験、潜水計画、最大深度と潜水時間等）に従ってください。そうでない場合、ダイビングや講習から除外されたり、返金せずにダイビングを断られることとなります。

休暇中の不必要なストレスを避けるために-安全なダイビング

以下の幾つかの状況によって、あなたの体がより空素を吸収したり、吸収しやすく変化します。

◆下痢やスポーツのしすぎ等による脱水症状（温暖な地域では発汗により失われた水分を補う為に、通常1日に2.5~3リットルの水を飲んで下さい）

◆ケガ（過去に受けた骨折も含む） ◆太り過ぎ ◆年齢（高齢） ◆病気（船酔いも含む）

◆アルコールの消費量（ダイビング前夜も含む） ◆一定の薬物 ◆避妊用ピルや他のホルモン剤の摂取

これらの項目のどれか一つでも当てはまる場合：

- 迷わずスタッフに相談し適切な情報を得る
- 極力安全なダイビングを計画する：どの深度でもコンピューターの減圧不要限界より5分以上短くする；反復潜水は20m以下を計画する；ゆっくり浮上し、1分間に10mを超えず、すべてのダイビング後5mで少なくともとも3分間安全停止をする

★ダイビング後の飛行機搭乗に関する注意事項★

- ダイビング後に飛行機に乗る場合は、水面休憩時間として少なくとも12時間待たなければなりません。
- 反復ダイビングや複数日にわたるダイビングの後に、飛行機に乗る前に、水面休憩として少なくとも18時間待たなければなりません。
- 減圧停止をした場合は、飛行機に乗るまでは、水面休憩として最低でも18時間をこえる時間待たなければなりません。

病歴書とメディカル・ヒストリー

この病歴書は、レクリエーション・ダイビングに参加する前に、医師の診断を受けるべきかを判断する為のものです。以下の質問にイエスと答えたからといって、ダイビングをする資格に欠けることを意味するわけではありません。その回答は、ダイビング時の安全性を阻害させる条件を判明させ、医師からのアドバイスを必要とすることを意味します。スクーバを安全に楽しむためには、極端なオーバーウェイトやコンディションを軽視してはなりません。ダイビングはコンディションしだいでは非常に激しい活動にもなります。呼吸器と循環器系が健康であること、すべての体内空間に異常がなく健康であることが必要です。心臓の疾患、現在カゼをひいている、癲癇、喘息、重度の医学的なトラブル、アルコールや薬物依存の傾向などがある場合は、ダイビングをするべきではありません。また現在定期的に投薬を受けている人は、プログラムに参加する前に、医師そしてインストラクターに相談してください。あなたの、過去と現在の健康に関する以下の質問に**YES（イエス）**または**NO（ノー）**でお答えください。回答が不明な場合は、安全を記してYESとお答えください。**YESの場合には**、スクーバダイビングに参加する前に医師と相談していただかなければなりません。スクーバダイビングすることに適していると明記された最近（1年以内）の医師からの診断書を携帯しなかった場合、現地の医師から診断を受け、診断書を提出してください。

- 現在妊娠をしている、もしくはその可能性がある。
- 現在処方せんによる投薬を受けている（避妊薬、マラリア予防薬は除く）。
- 45歳以上の方で、以下の項目が1つ以上当てはまる。
 - バイブ、葉巻、タバコを喫煙している。
 - コレステロール値レベルが高い。
 - 家族に心臓発作や脳卒中の病歴がある方がいる。
 - 現在診療を受けている。
 - 高血圧である。
 - 食事療法で調整しているが糖尿病である。

以前に以下の病気にかったことがある、または現在かかっていますか？

- 喘息（ぜんそく）、あるいは呼吸時の喘息（ぜいぜいする）、または運動時に喘鳴が起きる、または起きたことがあった。
- 花粉症、またはアレルギー症状の激しい発作、あるいは頻繁な発作がある。
- カゼ、副鼻腔炎、または気管支炎によくかかる。
- 何らかの肺の病気（肺炎など）がある、またはなったことがある。
- 気胸がある、またはなったことがある。
- その他の肺の病気がある、またはなったことがある。もしくは肺（胸部）の手術を受けたことがある。
- 行動上の問題、または精神的、心理的な問題がある、またはなったことがある。（不安発作、閉所恐怖症、広場恐怖症など）。
- てんかん、発作、けいれんをおこす、またはそれを抑えるための薬を服用している
- 複雑性偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している。
- ヘルニアにかかっている、またはわずらっていたことがある。

- 意識喪失や、気絶したことがある（完全、または一時的に意識を失う）。
- 乗り物酔いがよくある。または乗り物酔いが激しくある（船酔いや車酔いなど）。
- 赤痢または脱水症状で治療が必要である。
- 何らかのダイビング事故や減圧症である、またはなったことがある。
- 中等度の運動ができない（例えば、約16キロの距離を12分以内で歩くことができない）。
- 過去5年間に、意識を失う頭部の損傷があった。
- 腰痛を繰り返し起こす。
- 腰部または背骨の手術を受けている。
- 糖尿病である、またはなったことがある。
- 腰、腕、脚の外科手術、外傷や骨折後の後遺症がある。
- 高血圧症、または血圧降下剤など、血圧をコントロールする薬を服用している、またはしていた。
- 心臓発作がおきる、またはおきたことがある。
- 心臓疾患にかかっている、またはわずらっていた。
- 狭心症、あるいは心臓外科手術、または動脈手術を受けている。
- 副鼻腔の手術を受けている。
- 耳の病気や手術を受けたり、聴覚障害、平衡感覚障害である。
- 耳の病気を繰り返し起こす、または起こしていた。
- 出血やその他の血液障害がある、またはあった。
- 潰瘍、または潰瘍の外科手術を受けている。
- 大腸や回腸の人工肛門の手術を受けている。
- 過去5年間に娯楽で麻薬を使用したり、治療のために麻薬を用いた。またはアルコール依存症になったことがある。

私の病歴について、上記の情報は、私の知るかぎり間違いはありません。私は現在あるいは過去の健康状態を明らかにしなかった場合、記載漏れの事項に関する責任を負うことに同意します。私はこの用紙を読み、ダイビングは危険なスポーツであることをよく理解し、この用紙に署名することにより、私が持つ法的権利を放棄します。

参加者署名

日付

未成年者の場合は、親権者または保護者の署名

日付